

2025 年度 認定医申請のご案内 (更新)

I. 乳腺認定医更新申請資格

- ・ 本学会認定医（現在の認定医有効期限が 2025 年 3 月 31 日まで）であり、認定医取得後も継続して本学会会員であること
- ・ 会費を完納していること
- ・ 更新の前年 1 年間で 20 例もしくは直前 2 年間で 40 例以上の乳癌症例の診療経験があること
- ・ 乳腺疾患に関する研修実績（本学会総会の参加 2 回以上を含む）が 20 点以上あること
- ・ 直近 5 年以内の間に、本学会の教育・研修委員会主催の乳腺専門医・認定医セミナーの受講があること

* ご留意事項

専門医・指導医資格を保有している場合は、次回の申請時に同時取得が可能です

II. 申請期間

2024 年 12 月 1 日～2025 年 1 月 31 日 23 : 59

申請書類はデータにてご提出していただくこととなりました。郵送での申請を希望される場合は別途手数料 5,000 円が必要となります。詳細は V. 提出方法にてご確認ください。締め切り直前の問い合わせには対応できないことがありますので、日数に余裕をもって申請してください。尚、申請期間を過ぎての申請は受理できません。

III. 提出書類

作成にあたっての注意事項

- ・ **虚偽の記載が判明した場合には、申請者及び施設の認定を遡って停止となる可能性があります**
- ・ 必ず手元に申請書類を保管してください
事務局より、申請書類について問い合わせをする可能性があります
- ・ Excel のまま提出するものと PDF にして提出するものがあります（Ⅷ. 参照）
いずれもⅧチェックリストにあるファイル名にして提出してください

乳腺認定医(更新)申請書

1) 研修実績一覧

- ・2020年4月～2025年1月末までの乳腺に関する学会・研究会・セミナーに参加した研修実績が20点以上あること
 - ・本学会教育・研修委員会主催の乳腺専門医・認定医セミナーの5年以内(2020年以降)の受講証明があること
 - ・日本乳癌学会総会における研修実績が2回以上あること
 - ・参加した証明として、参加証・終了証のコピーを添付すること
日本外科学会 学会参加情報の照会ページのPDF添付でも可
- ※参加証・終了証には氏名を記載し、研修実績一覧と同様の番号を振ること

研修実績点数表

日本乳癌学会				その他学会		
学術総会*1	専門医 セミナー	地方会	教育 セミナー *2	国際 学会	国内 学会	乳腺関連研究会 乳腺関連講習会*3
6	4	2	1 or 2	4	3	2

*1 資格申請対象期間に、日本乳癌学会総会における研修実績を、認定医の場合は2回以上必須とする

*2 受講証記載の点数による。但し、記載のないものは1点とする。

*3 マンモグラフィ講習会、超音波講習会、JOHBOCセミナーなど適切なプログラムが組まれていること

2) 診療経験

- ・2024年1月～12月の1年間で20症例以上、もしくは2023年1月～2024年12月の2年間で40例以上の乳癌症例の診療経験を有すること
- ・手術療法(術者・助手含む)、画像診断、放射線治療、薬物療法、何れかの領域で、確定診断のついた症例のみ記載すること(良性・疑いは不可)

※主領域にて10症例(2年間の場合は20症例)以上ある場合は混合も可。混合となる領域の症例は1症例につき1領域でのみ使用可とし、主領域と症例が重複していないことを示すために乳癌症例記録に記載とする。

つまり、同一症例を、手術と薬物療法、手術と画像診断のように用いることは不可

- ・画像診断、放射線治療、薬物療法を主領域として選択した場合は、乳癌症例記録(10症例)および診療経験目録(10症例、2年間の場合は診療経験目録30症例)を提出すること

各診療領域の条件については、以下の通り定める

【手術療法】

- ・ NCD 検索システムより抽出した症例数を修練した施設ごとに記載する
- ・ NCD 登録（承認済み）が条件のため、2024 年 12 月末までの症例を NCD 検索システムより施設・術式ごとに抽出したリストを提出する（但し、NCD リストは全体から必要症例数+10 例程度の抜粋でよい）

【画像診断】

- ・ 乳癌症例記録(10 症例)には、初診年月・診断手技・病理組織診断確認日・病理組織診断名の記載が必須、記載例に倣い、画像診断の詳細（所見やカテゴリー診断など）および診療内容も記載すること
- ・ 診療経験目録（10 または 30 症例）には、初診年月・診断手技・病理組織診断名を必ず記入する
- ・ 経験症例には、組織診断による癌の診断確定を得ていることが必要（細胞診による診断は不可）

申請者自らが針生検などにより病理組織診断を行わなくても、最終的に”組織診断による乳癌の確定診断を得ていること”のフィードバックを受け、自らの画像診断の精度管理を行っていれば、この要件をクリアしていると判断します

- ・ 再発・転移に対する診断は認めない

【放射線治療】

- ・ 乳癌症例記録(10 症例)には、初診年月、原発、進行・転移再発、病理組織診断名、術式、照射部位、照射期間、照射線量、診療内容の記載が必須、記載例に倣い、診療内容を記載すること
- ・ 診療経験目録（10 または 30 症例）には、施行期間、原発、進行・転移再発、病理組織診断名、術式、照射部位、照射線量を記入すること

【薬物療法】

- ・ 転移再発症例での治療経験を 20 例中 5 例（または 40 例中 10 例）以上提出することとし、乳癌症例記録に詳細を記載する
- ・ 乳癌症例記録（10 症例）には、初診年月・病理組織診断名・HR・HER2・治療ライン（術前/術後/進行・転移再発）・レジメ、薬剤名・投与期間の記載は必須、記載例に倣い診療内容も記載すること(10 症例中、5 例以上転移再発症例を必須とする) 診療経験目録（10 または 30 症例）には、施行年月・治療ライン（術前/術後/進行・転移再発）・病理組織診断名・HR・HER2・レジメ・薬剤名を記入すること。転移再発症例での治療経験を含めて提出すること。
- ・ 周術期薬物療法の症例は、殺細胞性抗癌薬に限る。（ホルモン療法・分子標的治療のみ及びその併用は不可^{*1}）また、初回投与開始症例のみに限る。

※術前化学療法 A を行い、術後治療 B を行った場合でも、1 例と扱い、別個に掲載しない、つまり治療レジメをダブルカウントしないこと。

*1 HER2 陽性乳癌における T-DM1 のみは不可（術前治療からの担当が必須）。

また、Olaparib+ホルモン治療、Abemaciclib+ホルモン療法も、基本ハイリスクなので化学療法からの担当が必須。化学療法を実施しない場合はその理由根拠が明確であれば可。

- ・ 転移再発症例は、初回投与に限らず提出可能であるが、同一患者で提出可能なのは1レジメまでとする。（同一患者において治療の継続やレジメの変更で提出することは不可）レジメは転移再発乳癌に保険適用となっている治療法であれば、その種類を問わず申請可能である。（殺細胞抗癌薬のみに限定しない）臨床試験や治験症例であれば保険適用外例も可とする。

《申請書類における患者個人情報の保護について》

申請書類入力にあたっては、個人が特定出来ないよう施設の個人情報取り扱いに関する規定を順守すること

施設監査を行った際にスムーズに診療録や手術記録とつぎ合わせ確認が出来るようにしておくこと

※乳腺認定医認定証の提出は不要となりました

IV.申請手数料について

申請手数料：10,000 円

【郵便局からのお振込】

口座記号番号：00170-5-404708

加入者名：日本乳癌学会専門医制度委員会

【銀行、ネットバンキングからのお振込】

銀行 支店：ゆうちょ銀行 019 支店

預金種：当座預金

口座番号：0404708

名義人名：日本乳癌学会専門医制度委員会

申請前に必ず申請手数料のご入金をお願いいたします

※振込の際、可能であれば通信欄に「認定医更新申請料」とご記入ください

なお、既納の申請手数料は、いかなる理由があっても返却いたしません

V.提出方法

zip ファイルにして、以下のサーバーにアップロードしてください

<https://jbcs.xdrive.jp/index.php/s/FBD5AkeGXemXzZ9>

詳しい申請方法については、別途「申請手順」をご確認下さい

Excel のまま提出するものと PDF にするものがありますので、Ⅷ.チェックリストにてご確認ください

申請書類と申請料の入金確認が完了次第、受領メールを送信いたします

申請時期により、確認に 2 週間程度かかる場合もありますので、ご了承ください

<データでの提出が難しい場合>

データでの提出がどうしても難しい場合は、郵送での提出を受付けます

郵送で提出する場合は別途 5,000 円の手数料が必要となりますので、申請料 15,000 円（申請料 10,000 円+手数料 5,000 円）をご入金いただき、配達記録が残る簡易書留、レターパック等で事務局宛にお送りください（2025 年 1 月 31 日必着）

〒103-0027

東京都中央区日本橋 3-8-16 ぶよおビル 3F

日本乳癌学会 宛

VI.審査結果について

可否通知は申請書に記載いただいた送付先に郵送いたします。

合格者には認定料(10,000 円)の入金確認ができ次第、認定証を発送いたします

VII.問合せ先

日本乳癌学会事務局 office@jbcs.gr.jp

申請要件に確認事項がある場合は、ご遠慮なく事務局までお問合せください

なお、正確を期すために、電話でのお問い合わせはお控えください

VIII.チェックリスト

☐ ① 乳腺認定医(更新)申請書

☐ ② 研修実績一覧

＜ファイル名＞nk_1.2_氏名

※Excel のままでひとつのファイルで申請

申請書のフォーマットのまま、PDF にしたシートや選択しなかった領域のシートは削除せず空白のまま提出

☐ ③ 症例記録および診療経験目録

＜ファイル名＞nk_3_氏名

※公印をもらった後、③を PDF にして申請 ※施設ごとの証明が必要
手術療法のみ、症例数の目録の添付書類として

☐ NCD 検索システムによる検索結果リスト（各施設ごと、各術式ごとに抽出）

＜ファイル名＞nk_NCD_氏名

研修実績一覧の添付書類として

☐ 乳腺専門医・認定医セミナー受講証

☐ 日本乳癌学会学術総会参加証

☐ その他学術総会参加証・講習会終了証のコピー

＜ファイル名＞nk_参加証_氏名

※ひとつの PDF にして申請

乳腺認定医認定証の提出は不要です

* ご留意ください *

提出する書類が添付されていない等の基本的な不備は、委員会における審査で
不合格となる場合もございます

申請前に必ず書類をご確認ください